

畜産研究部の種雄牛舎が新しく完成

畜産研究部内には、種雄牛を始め肥育牛や乳用牛などの牛舎が多数あり、また部内敷地内に市道や里道が走っている関係から、口蹄疫などの伝染力の強い家畜伝染病の侵入や感染の疑いが出た際に、種雄牛の牛舎を完全に隔離し防疫することは困難な状況でしたが、平成24年3月に防疫対策を強化するための閉鎖型の機能を持つ新種雄牛舎が市道及び里道の走らない本館から離れた場所に完成しました。

種雄牛舎の概要

- ・牛舎(A棟 B棟)及び採取場棟 収容頭数 32頭
- ・事務所棟
 - 精液採取準備室 凍結精液処理室 精液性状検査室 凍結精液製造保管室
 - 事務室 休憩室
- ・更衣室
- ・飼料・オガクズ庫
- ・堆肥舎
- ・ポンプ室棟
- ・監視カメラ
- ・フェンス



新種雄牛舎全景



牛舎と繋留場



監視カメラ



精液採取場